



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

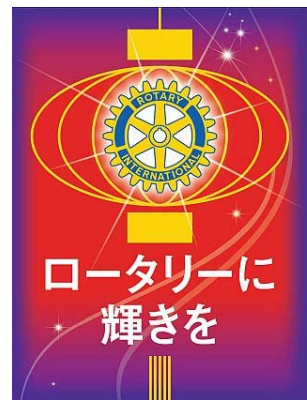
事務局 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目3番19号 東洋ビルディング本館3階

例会 毎週木曜日 12時30分 インターコンチネンタルホテル大阪

会長 小寺一矢 幹事 中島清治

事務局電話(06)6374-0303 FAX(06)6374-0310 ホテル電話(06)6374-5700

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



2014-2015年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

FEBRUARY 19 2015 NO. 2281

世界理解月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2281回)
- 2) ソング 我等の生業
- 3) 卓話
「職業倫理こそロータリー精神の芯」
職業奉仕委員会
- 4) 第3回被選理事会

次週(2月26日)のお知らせ

- 1) 例会 (2282回)
- 2) ソング 早春賦
- 3) 卓話 「好きだモノメガネ」
谷本 圭二 会員
- 4) 3月度定例理事会

☆☆ 2月度の結婚記念日 ☆☆

藤井 弁次 岸本 良一 重里 國麿
小澤 満 金田 五郎

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

先週も少し「月間」についてご紹介しましたが、昨年10月のRI理事会で「月間」が新年度(7月)から変更されることが決まったそうです。

9月「新世代のための月間」から「基本的教育と識字率向上月間」に。識字率100%の日本で態々月間として取り上げねばならないのでしょうか。違和感を覚えます。10月「職業奉仕月間」が「経済と地域社会の発展月間」に。12月「家族月間」が「疾病予防と治療月間」に。どうして「家族」が「疾病と治療」に変わるのでしょうか。日本のロータリアンが、今更理解を深めねばならないことでしょうか。1月「ロータリー理解推進月間」が「職業奉仕月間」に。次年度当クラブの職業奉仕賞授与は1月になりますので、お間違いないように。2月「世界理解月間」が「平和と紛争予防/紛争解決月間」という生々しい月間に変わります。3月「識字率向上月間」が「水と衛生月間」に。どちらとも日本はとっくに克服している課題で、世界に目を向けよ、ということ

でしょうか。詳しくは「ロータリーの友」2月号38頁をご覧ください。RI理事会で決められているようですが、国連における日本の扱いのようで、日本はおそらく最大の貢献国であり乍ら、私個人としては、日本発信の視点が殆どみえてこないのは寂しい感じを受けました。

さて、昨日は「建国記念の日」でした。戦争に敗れる迄は「紀元節」といわれていました。本年は「紀元2675年」です。戦後長い間、占領軍によって「紀元節」は封印されていました。紀元節どころか、日本の歴史そのものが、神武天皇から今上天皇に至る125代の皇統を示す記念日です。昨日、街中で日の丸を掲げる風景は殆どみられませんでした。私は20数年前から祝日には玄關に国旗を掲げていますが、正直申しますと、最初は子供達が右翼の子とか、日教組の教師から嫌がらせを受けるのではと、要らぬ心配をしました。そのうちに「誇り」と「伝統」が一本の旗竿で表せるということを実感し、違和感なく掲げ続けています。

どうして普通の日本人が素直に国の始まりを祝うことにためらいがあるのか。占領軍の封印に発し、そのあとを継いだ進歩的文化人、マスコミ、日教組の70年に渉る洗脳教育。今更乍ら「教育」というものに、きっちり向き合わねばと思いますが、皆様はどうお考えでしょうか。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	62名	2月12日の出席率	75.00%
国内ゲスト	1名	会員出席	39名(52名)	4週間前(1月22日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	25名	マークアップを含む出席率	81.48%
外国ゲスト	0名	会員欠席	13名	マークアップ実施会員	2名(欠席者12名)

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「2015-16年度版 ロータリー手帳」申し込みのご案内をお配りしています。2月19日(木)までに必ずご提出をお願いいたします。
- ②2014-15年度最終例会を大阪天満宮で開催することとなりましたので本日ご案内をお配りしております。
- ③No.2・3テーブル情報集会のご案内をお配りしております。ご返事を事務局までお願いいたします。
- ④No.1・5テーブル情報集会ならびにNo.4・6・7テーブルの出欠のご返事を事務局まで願いたします。
- ⑤「観梅のご案内」出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑥下半期の会費のご請求をさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。
- ⑦次週例会終了後「第3回被選理事会」を開催致します。関係各位宜しく願いたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日の卓話よろしく願致します。皆様の身近に起こっています。

19カ年在籍表彰自祝

平成27年2月12日 合計金 10,000円

累計金 1,361,340円

☆☆ 先週(2月12日)の卓話 ☆☆

「神話が創り出す暴力」

NPO法人暴力防止情報スペース・APIS

朴宗筍(パク チョンスン)様

高田 肇会員紹介

人間は普段の生活の中で、知らず知らず、多くの思い込みを身に付けています。次の事柄はよく口にされることですが、真偽をどのように思われますか?「挑発的な服装が強姦を招く」、「強姦の加害者は見ず知らずの人である」これらは強姦神話の一例です。強姦神話(rape myth)とは、強姦に関して、あたかも真実であるかのように思われている誤った社会通念です。実際には被害者の多くがむしろ地味な服装であったりします。また、内閣府による調査では加害者が全く知らない人は17.2%で、よく知っている人が61.9%です。このような神話は、いたるところに存在します。子どもが夜遅くに外にいたら、「早く家に帰りなさい。」と声をかけることがあるでしょう。

しかし、家族からの暴力を考えると、子どもが家に帰ることはもしかしたら死につながる結果を生むことになるかもしれません。自分にとっての当たり前(思い込み)はすべての人と共通ではありません。こどもをしつけるとき体罰を当たり前と考える風潮は、今の日本には色濃く残っています。暴力には即効性がありますが、エスカレートしやすく重大な事故を招く恐れがあります。そして、子どもは暴力を持って解決するというのを親から学ぶのです。

「多様性の尊重」がうたわれる現在であっても、社会の中の蔓延する神話に気が付かなければ、知らないうちに誰かを傷つけてしまうことがあります。社会の中で出会う人間を「大人」「子ども」や「男性」「女性」などでひとくくりにして理解しようとししないで、一人一人のありようを尊重することが暴力を防止することにつながっていきます。

ロータリー財団
米山奨学会

コインサービスの報告

12/18 残 高 689円

2/12 受 入 52円

現在高 741円

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

マッシュルーム・クリームスープ、タイムの香り

US・ハラミビーフと万願寺ペッパーとトマトライス

チョコレートムース、ベリー添え コーヒー

我等の生業なりわい

一、我等の生業なりわいさまざまなれど

集つどいて 凶むつる心は一つ

求もとむるところは 平和やわら親睦むつび

力ちからむるところは 向上 奉仕

おおろりア

我等の集つどい

二、奉仕に集つどえる我等は望む

正ただしき道に 果このみをとるを

人ひとの世よ挙こぞりて 光あを浴あみつ

力ちからを協あせて 争あらそ 忌いむを

おおろりア

我等の集つどい